

モリメイト通信

本気で遊ぼう！モリメイト

12 月 2 日(木曜日) さあ！ 落ち葉掻きを始めよう！

【参加者：池本幸、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 9 名】



公園内の園路にはたくさんの落ち葉が積もる季節になった。来園者が気持ちよく散策できるように、また、落葉を集めて腐葉土を作るために、毎年この時期に落ち葉掻きを行っている。



まず、ビジターコテージから風のとりで、5 番東屋に続く園路の落ち葉掻きから始めることにした。さらえて落ち葉をかき集め山にした後ふごに入れ、軽トラに載せてビートルズベッドに運ぶ。ふごが 6 袋しかなかったため、もう 1 台の軽トラにはビニールシートを敷き、直接、集めた落ち葉を入れて運ぶことにした。

2 台の軽トラはフル活動でどんどん集めた落ち葉を運んでいった。5～6 回の往復でビートルズベッドの 3 分の 1 ぐらいにまで入れることができた。

森林公園のあちこちに自生しているソゴの木。今、小さく真っ赤な実をつけている。可愛らしくてしばらく眺めていたくなるほどである



12 月 9 日(木曜日) ビートルズベッド満杯

【参加者：池本幸、越智宏、越智美、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木明、中 計 9 名】

朝から快晴。風もなく暖かな絶好の作業日和。

作業は前回に引き続き落ち葉掻き。まず、ビジターコテージの園路からスタート。この場所はドングリの森からのコナラの落ち葉がどっさり。箕を使ってふごにかき集め落ち葉を入れていった。ふご 6 個が満杯になって一帯がきれいになったのでハンモックの森近くへ移動。ここでもふご 4 個分ほど集めると 6 番東屋からトンネルへ向かう園路へ移動して落ち葉掻きを続けた。今回は軽トラ 3 台を使いふごも 15 個あったので満杯になるまで集中的に落ち葉掻きを続けた。満杯になるとビートルズベッドに運んだので、途中の落ち葉運びの手間がなく順調に進んだ。ビートルズベッドでは前回までに集めた葉が少し沈み込んでいたので、その上に次々と落ち葉を積み重ねて足で踏み込みさらに積み上げる作業の繰り返し。

午後からはビートルズベッド周辺の落ち葉掻きを行い、今年の落ち葉掻きを終えた。



12月16日(木曜日) 枯れマツと枯れコナラの除伐

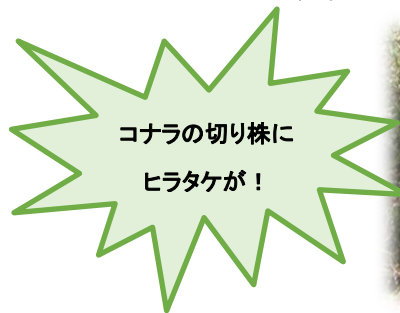
【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、 9名】



澄み切った真っ青な冬の空が広がり、気温は低くても作業するには気持ちのいい日であった。サブコテージからカブトムシの森に向かって園路沿いにある枯れマツを探し、見つけては除伐。比較的細い枯れマツが多く、伐っては枝葉を片付けるといふ作業が手際よく進んでいった。午前中に16本の枯れマツを除伐。



午後からはカブトムシの森近くの枝葉がすっかり枯れているコナラを除伐。やはりカシノナガキイムシが運ぶ病原菌に侵され中心部分が空洞になっていた。



コナラの切り株に
ヒラタケが！



12月23日(木曜日) 枯れマツの除伐と

整備いろいろ(看板のつけ替え・方位板の移動・丸太橋の引き上げ)

【参加者:池本幸、池本美、越智宏、越智美、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 10名】



今年最後のモリメイト活動も穏やかな冬晴れに恵まれ作業をすることができた。

初めに、字が消えかけ古くなっていたビートルズベッドの看板をつけ替えた。この看板と柵の修理も終え落葉で満たされたビートルズベッド。カブトムシの幼虫も喜んでくれるであろう。次に、軽トラがカブトムシの森に入りやすくするために方位板を移動し、モリメイトフィールドの小川の水中に落ちた丸太橋を引き上げ渡れるようにした。その後、クヌギの森の中にある枯れマツ6本を植樹したクヌギに当たらないように倒す方向に注意し除伐。

午後からは、カブトムシの森から6番東屋に向かう園路周辺の枯れマツを7本除伐し、今年のモリメイト活動を終えた。

今年1年、安全面には十分に気を付け作業をしてきたので、怪我もなく活動できた。コロナ禍で「シイタケの菌打ち体験」、「森のオリエンテーリング」など準備していたイベントができなかったことは残念だったが、感染者が少なくなった11月、「第7回くぬぎの森づくり」を開催できたことは何より嬉しいことであった。

枯れマツの
周辺には松
の幼木が
育っていた

